

10/24 神井

難民申請最多ペース

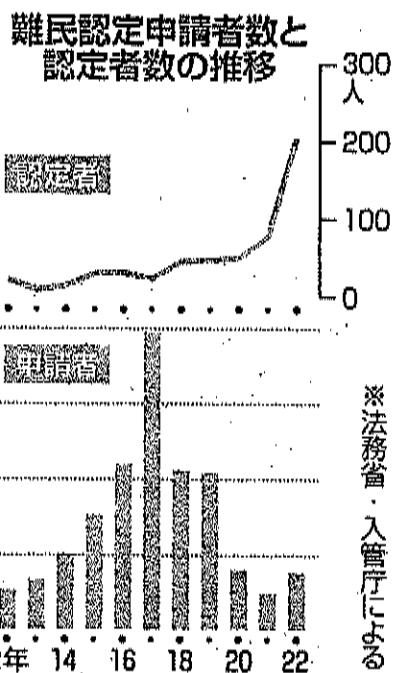
国内1~9月、1万1000人超

水際対策終了、紛争多発で

日本で難民認定を申請する外国人が今年急増し、1~9月で1万1千人を超えた。通年で1万9629人と過去最多だった2017年に迫る勢いであることが分かった。

新型コロナウイルス感染防止の水際対策が終り、世界各地で紛争が多発していることなどが原因とみられる。申請者の増加に伴い、認定者も増えるか注目される。

難民申請者は、申請の6ヶ月後に就労が認められる。今年の急増の原因是①4月に水際対策が終了し、母國から脱出したくてもコロ



ナ禍で動けなかった人が新たに入国し申請した②アフリカをはじめ紛争や政情悪化が相次ぎ、既に来日していた人が申請に踏み切った「などが挙げられている。急増の結果、政府が難民申請者の生活を支援する「保護費」の支給が遅れるなど、影響も出ている。平均約2年9ヶ月（異議手続期間も含めると3年11ヶ月）

務省入国管理局（現出入国在留管理庁）が18年、申請を繰り返した場合は在留を認めないとの対策を取ること、減少に転じた。コロナ禍の20年からは、入国制限で来日外国人が激減したのに伴い、2千~3千人台で推移していた。

一方、難民認定者は昨年、2021人と過去最多で、認定率は2%だった。今年も、アフガニスタンから避難した国際協力機構（JICA）の現地職員と家族114人が7月に認定され、既に例

年を上回っている。